

平成25年10月24日

庄内町長 原 田 眞 樹 殿

庄内町行政改革推進委員会  
委員長 佐 藤 正 義

平成25年度庄内町事務事業評価に係る外部評価結果について（意見書）

今年度、庄内町にて実施された事務事業評価における内部評価結果について、町民の視点に立って検証した結果、下記のとおりまとめましたので意見書を提出します。

#### 記

#### 1 委員会開催状況

平成25年	9月	25日	(水)	第1回行政改革推進委員会
	10月	2日	(水)	第2回行政改革推進委員会
	10月	16日	(水)	第3回行政改革推進委員会

#### 2 審議した事項

平成25年度庄内町事務事業評価に係る外部評価について

#### 3 委員名簿

大瀧国夫、岡部一宏、小林義廣、齋藤ゆう子、佐藤正義、志田重一、清野美子、高梨美代子、和田明子、渡邊和能

#### 4 事務局

長南和幸、佐藤秀樹、清野美保、佐々木一記

#### 5 審議の結果

「平成25年度庄内町事務事業評価に係る外部評価」の結果については、別紙のとおりです。

1 審議の対象とした事務事業

本委員会は、町が平成25年度に一次評価を行った334事業のうち、二次評価で意見を付した6項目に係る事業を外部評価対象事業（以下「対象事業」という。）として、審議しました。

2 審議にあたっての視点

本委員会では、町が行った内部評価結果について、以下の点に留意した審議のうえ、それぞれの事業に対し、今後の方向性を示しました。

- (1) 一次評価及び二次評価の内容が妥当かどうか。
- (2) 事業を更に効率的かつ効果的に実施する余地はないか。

3 審議の結果

(1) 対象事業に係る審議結果

事業名		内部評価（第二次評価）の結果	本委員会の評価結果
①	通学通園対策事業	スクールバス、町営バスに限らず、町で管理するバス事業全体の管理、運営、運行状況等について現状を整理し、バスの有効活用による住民の利便性の向上を考慮した一括管理などの方向性を検討する機会を設けること。	一括管理について検討すること。さらにスクールバスへの混乗運行については、町民の利便性向上に寄与することを目的に検討し、時間帯、地域別に可能な路線から実施すること。
	バス運行事業		
②	税徴収業務	町税、負担金、使用料などに係る徴収、収納業務については、業務の効率化を図るため、各課横断的な取組みを推進し、情報の共有化、将来的なシステム構築等について検討すること。	現機構内に町税、負担金、使用料などに係る徴収、収納状況を統括管理ならびに収納促進指揮を持つセクションを設け、その下で各課横断的な取組みを推進し、情報の共有化、将来的なシステム構築等について検討すること。
	(使用料等収納業務)		
③	委託保育事業	各保育園運営が抱える諸課題解決のため、保育園運営全体としての方向性を整理し、町全体の就学前幼児の保育、教育について、幼稚園運営との具体的な調整を図るよう努めること。	保育園・幼稚園とも町が実施主体となる必要性は無く、民間委託によって柔軟な保育量の提供、特異性の発揮、保育士確保などの諸課題の解消が図られると共に、大幅な歳出削減も見込まれる。保育園・幼稚園運営の委託も含めた町全体の就学前幼児の保育、教育について、早急に方向性を整理し、具体的な検討をすること。
	余目保育園運営費		
	狩川保育園運営費		
	清川保育園運営費		
	幼稚園管理運営事業		

事業名		内部評価（第二次評価）の結果	本委員会の評価結果
④	大中島保育園管理事業	現状の課題を解決したうえで、休園から閉園、廃止の方向で早急に取り組むこと。	内部評価は妥当である。加えて廃止後に残る施設の解体、撤去も速やかに取り組むこと。
⑤	淡水魚養殖施設指定管理事業	淡水魚養殖施設で養殖されているイワナは、主に北月山荘に食材として提供され、北月山荘の魅力の1つとなっていることから、水利権など個々の施設が有する課題を整理し、将来的には、一体となった指定管理者制度による管理運営を目指して検討すること。	現淡水魚養殖事業運営は、事業収支・後継者育成等厳しい状況下にあるが、町特産品の発展ならびに北月山荘周辺地域の観光振興を目的にした施策の一環として、一体となった指定管理者制度による管理運営を検討すること。
	北月山荘等管理事業		
⑥	栄寿大学開催事業	これまでの栄寿大学の開催形態、同窓会との調整等はあるものの、高齢者の社会参画と生きがいづくりを目指す高齢者教育事業については、基本的には、地域に根差した各学区・地区公民館の自主独立した運営の中に位置づける方向で検討すること。	内部評価は妥当である。加えて、響ホールでは、各学区・地区公民館では行いがたい学習会の開催と併せて、町民大学、松寿大学などの受講生交流の機会を検討すること。

## (2) その他の意見

審議を進めていく中で、全体的な視点から次のような意見がありました。

- ① 行政運営に民間活力の発想を取り込み、柔軟な発想や各課横断的な取組みによって、施策の実現を図ること。
- ② 職員ひとり一人の自主・自発的な取組みを促し、より良い町づくりに資すること。
- ③ 常に効率的・効果的な行政運営を意識し、事務改善に努めること。